



▼クローン苗木の植樹を行う奥名町長（右）と森林総合研究所の佐藤課長



苗木を受け取った奥名克美町長らはそのうちの1本を町役場内の広場に植樹。残る1本は「麻生原のキンモクセイ」近くに麻生原区の皆さんの手で植えられました。

を収集していた同育種場は文化庁の許可を得て10本の枝を採取し、挿し木して4本の苗木の育成に成功。このうち30程に成長した2本が町へ譲渡されました。

町は平成25年に森林総合研究所林木育種センター九州育種場（合志市）へクローン苗木の育成を依頼。学術研究のため長寿木の遺伝子を

天然記念物の遺伝子つなぐ

「麻生原のキンモクセイ」クローン苗木を植樹

4月20日（金）国指定天然記念物「麻生原のキンモクセイ」と同じ遺伝子を持つクローン苗木が、町役場東側の広場に植樹されました。

「キンモクセイ」は、モクセイ科の一種ウスギモクセイで樹高18m、幹まわり3m、樹齢750年以上とされています。台風や熊本地震による被害を乗り越えましたが、近年は樹勢の衰えが目立っていました。

緑川で大きく育てね

甲佐小3年生が稚アユ1万1千匹を放流

4月24日（火）中甲橋グリーンパークで、甲佐小学校（福田雅也校長201人）の3年生35人が稚アユの放流を体験しました。

水環境の大切さを子どもたちに伝えるためにサントリー九州熊本工場（嘉島町）が2005年から毎年実施。緑川漁業協同組合（山口照雄組合長）の協力の下、体長5～6センチに成長した稚アユ約1万1千匹をやさしく放流しました。

放流を体験した児童たちは「面白かった。大きく育てほしい」と笑顔で話しました。



▲バケツに分けた稚アユを緑川に放流する甲佐小3年生



◀集められたごみを再分別する甲佐中生徒たち

きれいな自然環境を守ろう

「緑川の日2018」一斉清掃活動

4月29日（日）緑川流域などで、「緑川の日2018」一斉清掃活動が行われました。

緑川などの自然環境の保全に関して、住民や企業、行政機関などが連携して取り組むことを目的として、甲佐町緑川流域美化活動推進協議会（境国嗣会長）が主催。約2,000人が参加して、ごみ拾いや清掃作業に取り組みました。

参加者が各地で回収・分別した紙くずや空き缶・空き瓶、木くず、不法投棄されたごみなどは中甲橋グリーンパークに集められ、甲佐中学校の生徒らによって再度分別作業を行い処分。町内全体で、約1,800kgのごみを回収しました。

本町出身者が集い故郷を思う

第25回東京甲佐会総会および懇親会

4月21日（土）東京都渋谷区の国学院大学キャンパスで、第25回東京甲佐会総会および懇親会が開催されました。

同会（蜂谷和明会長）は、主に首都圏在住の本町出身者などで構成され、会員相互の親ばくと故郷である本町との交流や情報交換などを目的に平成6年に設立されました。

総会では、第42回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会への協賛金寄贈などが報告され、本町にゆかりのある約70人の参加者は、故郷への思いを温め交流を図りました。



▲総会・懇親会には本町にゆかりのある約70人が参加



▲そら豆を収穫する子どもたち

地域社会で育てる子どもたち

平成30年度乙女小「まつやま塾」開講

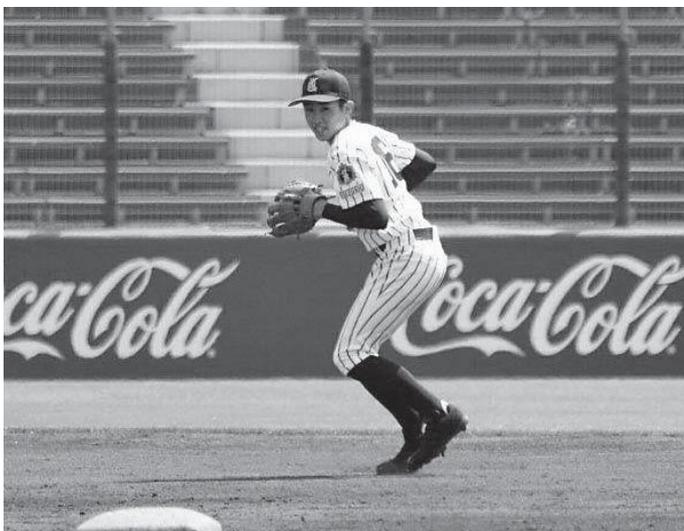
5月16日（水）乙女小学校で、平成30年度乙女小「まつやま塾」が開講しました。

同塾は放課後に地域住民の参加協力を得て地域社会で子どもたちをばぐくむことを目的に、町教育委員会が平成20年から主催。主に毎週水・金曜日に同小学校を中心に年間40回程度、活動を行います。

5月18日（金）は同塾が活用する畑で、そら豆などの収穫体験を実施。参加した子どもたちは昨年12月に種まきをしたそら豆やスナップえんどうを仲良く収穫しました。収穫後、下ごしらえの仕方を学び、茹でてみんなで味わいました。

高校野球の春季九州大会で優勝

北隆照選手が決勝で2安打1打点の活躍



▲4月に福岡県で行われた春季九州地区高校野球大会で9番二塁手として全4試合に先発出場し、優勝に大きく貢献した北選手

4月21日（土）～26日（木）福岡県で春季九州地区高校野球大会（第142回九州大会）が行われ、北隆照選手（津志田区、福岡・九州国際大学付属高3年）が出演し、見事優勝しました。

同大会は九州各県の代表11校に今春の選抜高校野球大会出場校を加えた計16校が参加。福岡県予選大会を4位で通過し、本大会へ進んだ同高で、北選手は9番二塁手として全4試合に先発出場。決勝では二塁打を含む2安打1打点の活躍で、同高の優勝に貢献しました。

北選手は「4試合戦い抜いて優勝できたことがよかったです。2回戦で昨秋の明治神宮大会準優勝校に勝ったことが自信につながったと思います」と大会を振り返り、今後の抱負については、夏の甲子園出場を見据えて「5月12日（土）の福岡高野連招待試合では春の選抜大会ベスト4の東海大相模高校と対戦しました。負けはしましたが、チーム力は確実に上がっていると感じました。最後の夏なので悔いが残らないように頑張ります」と話しました。